

駒澤大學 禪研究所年報

第 4 号

目 次

【公開講演会】アメリカ文学と禅	金関寿夫	(1)
訳注『大慧普覺禪師法語<続>』(上)	石井修道	(20)
中世仏教における尼の位相について(下)		
一特に初期曹洞宗教団を中心として一	石川力山	(63)
『金剛經解義』と神会	松本史朗	(81)
海巖宗奕に関する二、三の問題	川口高風	(105)
敦煌本『壇經』における戒の構造	高堂晃壽	(125)
駒澤大學禪研究所現況		(140)
駒澤大學禪研究所規程		(142)
『心王經』について		
—ソグド語訳された禪宗系偽經—	伊吹 敦	(173)
禪瞑想と時間体験に関する心理学的研究	茅原 正	(184)

1993年3月

駒澤大學禪研究所

一九九三年三月

駒澤大學禪研究所年報 第四號

駒澤大學禪研究所

ANNUAL REPORT OF THE ZEN INSTITUTE

No. 4 March 1993

Contents

Public Lecture: American Literature and Zen	
Kanaseki Hisao, Professor, American Literature and Comparative Literature at Women's Junior College, Jōsai University.....	(1)
An Annotated translation of the <i>Dahui pujue chanshi fayu</i> (Part 1)	
Ishii Shūdō, Professor, Komazawa University	(20)
The Place of Nuns in Medieval Japanese Buddhism (Part 2)	
Ishikawa Rikizan, Professor, Komazawa University.....	(63)
<i>Jingang jin jieyi</i> and Shenhui	
Matsumoto Shirō, Associate Professor, Komazawa University	(81)
Some Problems of Kaigan-Sōeki	
Kawaguchi Kōhū, Associate Professor, Aichigakuin University	(105)
The Precepts in the Dunhung Manuscripts of <i>Liu-zu tan-jing</i>	
Takadō Akihisa, Graduate Student, Tokyo University	(125)
The Current Situation of the Zen Institute, Komazawa University....	(140)
The Regulations of the Zen Institute, Komazawa University	(142)
On the <i>Dhūta-Sūtra</i> : An Apocryphal Chinese Sūtra of Early Ch'an Buddhism Translated into Sogdian	
Ibuki Atsus, Resercher of Institute of Oriental Study.....	(173)
Psychological Studies on Zen Meditation and Time-experience	
Chihara Tadashi, Lecturer, Komazawa University.....	(184)

Edited by

ZEN INSTITUTE
KOMAZAWA UNIVERSITY

SETAGAYA-KU, TOKYO

編輯後記

▽『駒澤大學禪研究所年報』第四号をお届けします。本号には、禪研究所主催による公開講演会で、元駒沢大学教授金関寿夫先生(現、

国禪宗史の本格的研究に後繼者を育てていな
いことがささやかれて いますが、このような
学会の状況を打破するきつかけになることを
期待したいと思います。

△こうした意味において、伊吹敦氏に御審稿頂いた敦煌写本の研究『心王經』についても、中国成立の禅宗典籍の多彩な展開の一端を提示してくれると同時に、初期禅宗史研究の新たな問題提起にもなっており、同時に敦皇て伏井卯つゝこつと奥丁きの采さとを改め、

煙文南研究のためには、現行きの渋谷を実感させられました。

▽一九九一年度より、文学部社会学科の中村間、研究員として在部された愛知学院大学助教授川口高風先生にも、日本禪宗史に関する御論考を執筆して頂き、学外の研究者にも広く御寄稿頂くという、本『年報』の当初の目的も定着しました。

ありますが、これを機会に今後ともなにかと
御指導頂けたらと念願します。

▽第四号には、さらに、松本史朗先生の「金剛經解義」と神会、高堂晃壽氏の「敦煌本『壇經』における戒の構造」という、初期禪宗史研究には避けて通れない課題に関する論考が寄せられ、これまでの禪宗史の常識に再横討を迫る鋭い提言もなされています。昨今、學術大会の研究発表などにおいても、中

駒澤大學禪研究所年報 第四号
(編集係 石川力山)
一九九三年三月三十日
東京都世駒澤学園二丁目三番二号
中鈴宣義著
印代刷表所者電話
電話 東京都千代田区飯田橋一丁目一
○三 (三三六四八九六六) 一二二二
台木駒澤學研究所長編著
整格(仏教文學部) 奠基二号所
版禪